

科目名	建築入門							年度	2024
英語科目名	Introduction to Architecture							学期	前期
学科・学年	建築学科 1 年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	山田 俊之		教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計	
【科目の目的】									
・ 建築とインテリアを学ぶ上で特有の考え方があることを理解できる ・ ワークショップを通して建築の楽しさや奥深さを理解できる ・ 建築とインテリアの業界には様々な分野があることを理解できる ・ 4 年間の科目と学修分野がどのように関連しているかを理解できる									
【科目の概要】									
ワークショップを通して建築を学ぶ人材に特有の考え方があることを「建築を学ぶためのパターン・ランゲージ」を通して楽しみながら学ぶ。また、建築インテリア分野を学ぶ上で1つ1つの科目の意味を知り、科目ごとにどう関連しているかを把握する。さらに、仕事の目的や内容について紹介し、簡単なワークを通して建築インテリアに関する理解を深める。									
【到達目標】									
次の4点を到達目標とする。 A：建築を学ぶ人材に特有の考え方、ものごとへの視点を持つことができる。 B：ワークショップの意義を理解した上で取り組むことができる。 C：4年間で学ぶ科目の内容と1年次で学ぶ科目同士の関係がわかる。 D：建築とインテリアの仕事の領域や内容がわかる。									
【授業の注意点】									
教科書・配布資料をよく理解し、予習・復習を行うこと。 なお、ワークが未提出のままでは、0点になる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力				
到達目標 A	特有の考え方・視点について深く理解している。		特有の考え方・視点を持つことができる。		特有の考え方・視点について理解が少ない。				
到達目標 B	ワークショップに積極的に参加している。		ワークショップに参加している。		ワークショップに参加してるとはいえない。				
到達目標 C	科目内容と科目同士の関係をおおよそ図に書いて説明ができる。		科目内容と科目同士の関係を半分程度、図に書いて説明ができる。		科目内容と科目同士の関係の理解が少ない。				
到達目標 D	仕事の領域や内容について自ら調べることができる。		仕事の領域や内容がわかる。		仕事の領域や内容を理解しようとする意欲が少ない。				
【教科書】									
初学者の建築講座『建築インテリア』／市ヶ谷出版社									
【参考資料】									
資料冊子、教育設計図、科目関連表									
【成績の評価方法・評価基準】									
授業中に実施するワークショップ課題の内容、パフォーマンス課題で評価する									

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		建築入門				年度	2024
英語表記		Introduction to Architecture				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	建築とインテリアの学び方	1	授業の概要	授業の概要を理解している	1	
			2	授業の進め方	授業の進め方について理解している		
5	ワークショップ1		1	建築とは？	8つのテーマについて理解している	1	
3	ワークショップ2		1	交差点に立つ	このテーマについて理解している	2	
			2	ロマンとガマン	このテーマについて理解している		
4	ワークショップ3		1	ドアノブから都市まで	このテーマについて理解している	2	
			2	歴史の中に起つ	このテーマについて理解している		
5	ワークショップ4		1	シェルターとモニュメント	このテーマについて理解している	2	
			2	資格の重み	このテーマについて理解している		
6	ワークショップ5		1	大地に建つ	このテーマについて理解している	2	
			2	建築に宿る生	このテーマについて理解している		
7	ワークショップ6		1	アーキテクトビルダー	このテーマについて理解している	2	
			2	8つのテーマの振り返り	8つのテーマについて振り返ることができる		
8	ワークショップ7		1	建築思考	8つのテーマについて理解している	1	
9	ワークショップ8		1	手で考える	このテーマについて理解している	2	
			2	脳内ウォークスルー	このテーマについて理解している		
10	ワークショップ9		1	現場思考	このテーマについて理解している	2	
			2	身体が定規	このテーマについて理解している		
11	ワークショップ10		1	全体性とディテール	このテーマについて理解している	2	
			2	模型思考	このテーマについて理解している		
12	ワークショップ11		1	「問い」の創造	このテーマについて理解している	2	
			2	ユーザー志向	このテーマについて理解している		
13	ワークショップ12		1	共創のデザイン	このテーマについて理解している	2	
			2	8つのテーマの振り返り	8つのテーマについて振り返ることができる		
14	授業科目に対する理解	これから学ぶ科目についての理解	1	科目の分布	いつ何を学ぶかについて理解している	2	
			2	科目の内容	科目がどんな分野に関連しているか理解している		
			3	科目と仕事のつながり	科目がどんな仕事に関係しているか理解している		
15	仕事に関する理解	建築とインテリアの仕事に関する理解	1	仕事をする魅力	建築とインテリアの仕事の魅力を理解している	2	
			2	仕事の領域	分野の名前と仕事の領域を理解している		
			3	仕事の内容	分野ごとの仕事内容を理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等